

令和7年度「市民と議会の対話集会」記録

文教民生委員会

- 開催日時 令和7年11月6日（木）午後2時～4時
- 開催会場 苗木交流センター ホール
- 懇談先
 - ・中津川歯科医師会
 - ・中津川市PTA連合会
 - ・家庭教育支援チーム「すくすくわくわくまあるいところ」
- 出席議員 文教民生委員
黒田ところ（委員長）、勝 彰（副委員長）、鷹見憲三、櫛松直子、
木下律子、島崎保人、吉村孝志
- 懇談テーマ 「お口の健康～歯周病予防について」
- 懇談内容
 - ・ライフステージに応じた歯科健診
 - ・日常生活での歯周病予防について
 - ・学校や職場での歯周病予防について
 - ・いかに日常生活で歯周病予防を定着させるか

歯科医師会

- ・高校生までは歯科健診を行っているが、その後が問題で、労働安全衛生法に基づいて年一回の職場の健診には歯科健診がない。
 - ・今、岐阜県歯科医師会で進めている市民皆健診があるが、中津川市は遅れている。是非、進めるよう要望する。
 - ・症状がない段階での予防がいかに重要である。伝えるのが困難。学校を卒業した後の20代30代が一番通院しなくなる。予防の勘所。
 - ・一番気になっていることは、子どもたちの姿勢と口呼吸と「口ぽかん」。
- 統計では、10人中3人が「口ぽかん」。実際にはもっと多いと思う。口のあけっぱなしは細菌等が入りやすく、インフルエンザや歯周病等になりやすいうえに歯並びも悪くな

りやすい。

学校では教えてくれることではない。家で保護者が気をつけていただきたい。

- ・歯周病が糖尿病、認知症、生活習慣病すべてにつながっている。

歯周病予防のためには、「口ぽかん」の予防が大切。そのためには、今各市町村で5歳児健診を提案したい。

- ・以前に小学校の歯の健診に同席した時、給食を残すのなら初めから減らしていることにびっくり。その理由は堅いものが食べられない、噛むのが面倒くさい、家を出されているものと違うから。せっかく計算されているのに全部食べることができないのは、口の中の状態がどうなっているかを知ること。
- ・現代は、不登校の問題もある。コミュニケーション能力、人と話す時、自分の滑舌でしっかり相手に伝えることができるか、表情も口腔機能のひとつ。

悲しい、嬉しい表情ができ、相手に伝えることの能力は小さい時から発達させることが大切。是非、5歳児健診をお願いしたい。

P T A連合会

- ・厚生労働省の虫歯発生実態調査、1989年から2021年までのデータでは小学校、中学校、高校で虫歯を有する人、治療完了も含めて、1989年は90%、2021年は約30%まで減っている。これは学校などでの歯磨きの徹底の指導の結果と思っている。家庭で小さい時からちゃんと噛んで飲み込むこと、歯を使うこと、食事のあとの歯磨き、寝る前の歯磨き、「口ぽかん」の防止などの地道な指導が歯周病予防につながる大切なことだと思う。
- ・私の子どもの通う小学校では、給食の後の歯磨きの際に、磨く時間を短く適当に磨いたり、磨かない子もいる。学校でしっかり磨くよう環境づくりや指導をお願いしたい。
- ・学校の歯の健診で、治療を指導しても保護者の仕事が忙しく、平日の夕方6時には診療も終わるので、日曜診療があると良い。

まあいいところ

- ・歯周病と聞いてピンとこなかったが、歯周病はどんな病気なのか知識がないために子どもに伝えることができない。自分は虫歯も多く、歯医者には小さいときからよく通っていたので子どもにはそうさせたくないと思う。ママ友たちと「歯医者にいつ行っているかわからない」、「痛くないのに行って良いのか」、「きっかけがわからない」と話をした。上の子が歯をぶつけたのがきっかけで歯医者にかかり、それから定期健診などもし

て、下の子も行くことができた。

- ・ 歯の健康についてのお話を聞く機会があり、参加。非常に勉強になった。知識があるというのは子育てでも違うと思う。母親だけでなく、父親も知ることがとても大事と思う。
- ・ 当市の保育園、幼稚園で歯ブラシを持たせない園、持たせる園がある。統一できると良い。小さい子が歯ブラシを持つことは危険が伴うから、保育士を増やさなければならないのが現状である。
- ・ 私も子ども供が生まれてから、歯周病予防、虫歯予防等を考えるようになった。
1歳児健診でどのタイミングで歯医者に行くのが良いか聞いたところ、歯が生える前から歯医者で見てもらい、歯医者さんが怖いところではないんだと知ることが大事だと習った。妊婦の時に教えてもらえるとよいと思った。
- ・ 仕事で県外から来た方に中津川市に歯医者があるかと尋ねられ、自分が通う歯医者しか紹介できなかった。外国の人を含め、市内全域の歯科医院のわかりやすいパンフレットを作してほしい。
- ・ 個人的なことだが、フッ素入りの歯磨き粉を紹介されましたが、それが合わず口が荒れたことがあった。後にいくつかサンプルをもらって合うものをみつけた。市でサンプルを配布すると良い。
- ・ 私の子どもも、二人とも「口ぽかん」がなかなかなおらず、今日みたいに「口ぽかん」の話を聞くと少しの間は家でも気をつけるが、しばらくすると忘れがちになります。こういった機会が多くあると良い。
- ・ ひと・まちテラスの子育てセンターで働いています。2カ月に一度、三歳児未満児を対象に歯科医に診てもらったり、歯ブラシ、歯磨きの指導やお口の悩み事などの相談しています。歯医者さんは怖くないよ、お口の中を見るだけだよと言って、慣れる機会になっていると思う。
- ・ 妊婦の指導を受けているが、妊婦はホルモンバランスなども崩れ、口の中が乾いたりして、歯周病になりやすいので、出産後の無料健診も行ってもらいたい。
その際、子どもが小さいとなかなか歯医者に行きづらいので、子育てセンターでは一時預かりもやっている。託児所の無料チケットがあると良い。
- ・ 子供が生まれると母親は自分のことは後回しになるため、一歳児、三歳児健診時にお母さんのお口の健診があると良い。
- ・ 私の子どもが通う小学校では、コロナ前までは給食後の歯磨きをしていたかもしれない。今はしていないので、せめてマウスウォッシュを活用し、うがいだけでもしたほうが良いと思う。

意見交換

(PTA連合会)

- ・なぜ市内の学校で統一できないのか。

(議員)

- ・コロナ開けから、人とのコミュニケーションが苦手な不登校の生徒が増えたことにより、歯のことまでをケアできない状況が続いている。もうひとつは、生徒の体力が低下している。原因は動かないからか、食べないからかは、分からないがそういう傾向がある。大事な課題ではあるが現時点では統一は難しいかもしれない。
- ・歯磨きは、朝昼晩と三回磨いた方がいいのか、朝晩でいいのか、朝だけ磨けばいいのか、歯科医としての見解を伺う。

(歯科医師会)

- ・私の場合は、寝ている間に細菌が増えるので朝起きてすぐ磨き、あとは、朝食後、歯磨き粉なしで磨き、昼食、寝る前に磨くが、それでも足りないと思う。
- ・究極だが、一回しか磨かないとしたら優先順位として寝る前に徹底的に磨く。
- ・一日5回磨くけど虫歯あるという人がいる。何回磨いても磨いてないところがあれば虫歯になる。回数ではなく磨き方や器具によって違いがある。

(議員)

- ・私は企業に勤めているが、10年ほど前から、健康診断に歯科健診もいれてある。働くものとしてなかなか歯医者に行きにくいこともあるので、歯科健診も一緒にできればいいと思う。市内で他に歯科健診を導入している企業はあるか。

(歯科医師会)

- ・私の記憶では、企業内に歯科があったり、歯科医師会ではない歯医者がやっていることがあったりしている、歯科医師会と提携して歯科健診をやっているのは1社だけだと思う。

(議員)

- ・乳児健診、一歳児健診、三歳児健診と健診があるが、20代、30代の受診者が少ないと。成人までに健診をするとしたらどの機会がよいですか。健診を増加するために、良いPRの方法を教えてほしい。

(歯科医師会)

- ・五歳児健診もその一つ。就学時健診のデータを有効活用することも大事。高校になると健診はあるものの歯を磨きなさいと言う指導はないので、義務教育のうちに習慣づけることが大事。

(PTA連合会)

- ・歯周病等を防ぐのは、歯ブラシをきちんと選ぶことで家庭でもできるのか、いずれは歯周病になるので健診を受けるべきか。

(歯科医師会)

- ・家庭でも防げるが、磨き方によっては歯茎をいためたて歯周病等になる。
- ・歯石等がないようにすればいいが、やはり健診を受けて歯石を取ったり定期的に健診を受けることがよい。

(まあるいところ)

- ・妊婦の助教に歯周病等になると胎児に何か影響はあるか。

(歯科医師会)

- ・影響があると統計では出ていますが、難しいのは妊娠の状態で、妊娠したから痛いのではなく、蓄積によって痛くなることが多く、ホルモンのバランスで痛くなることもあります。いずれにしても、レントゲン、麻酔、痛み止めなどは避けたく、妊娠前から健康であることと、妊娠したら早めに歯医者に行って診ていただくことが大切だと思う。

(議員)

- ・先生方は市民に説明する機会はこのほかにあるか。

(歯科医師会)

- ・学校では、年に何回か話す。節目健診、妊婦健診の後に指導等している。年齢に合った話をしている。

(議員)

- ・成人になってからの健診率が悪く、先生方からみてどの年代の節目健診が有効か、健診率を上げるためにはどうしたら良いか。

(歯科医師会)

- ・成人のどの年代も大切。より多くの市民に伝えることが良い。

(まあるいところ)

- ・先生方もいろんな活動をしているが、六斎市などのイベントで周知するのも良い。

(まあるいところ)

- ・私の子どもは歯医者に通っていて先生に矯正が必要になるかもと言われている。通っていない子の親に矯正の知識等の知る機会があると良い。市の方で設けてほしい。とりあえず、どうすればよいのか。

(歯科医師会)

- ・節目健診で矯正も診るので、学校に通うようになってからでも大丈夫。